



# そらいろレポート

佐川急便環境報告書2000



## そらいろの空を守るために

私たち人類は産業革命以来、豊かさと便利さを求め、大量生産、大量消費、大量廃棄を繰り返し、その結果大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、廃棄物の増加を引き起こし、緑の地球を瀕死の状態にしてしまったといっても過言ではありません。その中でも大気汚染や地球温暖化現象は、トラックが必要不可欠な物流企業にとって避けて通れない環境問題であり、大きく起因していることに相違ありません。当社はそうした状況を真摯に受け止め、まず空気のことから考えました。

1997年6月に経営陣を中心にエコプロジェクト推進委員会を立ち上げ、環境対策に関する検討の場を設け、「アイドリングストップキャンペーン」や「エコライフ100万人への誓い」など、空気をきれいにする努力、空気を汚さない努力を会社としてできること、個人としてできることをあげ、社員一人ひとりが生活者としてエコライフを実践しています。中でも、公共の道路を利用する立場として、ドライバー一人ひとりに対するアイドリングストップ推進や、現時点では排出する窒素酸化物の特に少ない天然ガス自動車をはじめ、使用車両の低公害車への代替に積極的に取り組んでまいりました。

社員保養施設においても環境負荷低減への取り組みをし、施設開発段階から施設運営にいたるまで環境循環・完結型施設構成を生かしたプログラムで、社員とその家族にも環境啓発を推進しています。

当社は21世紀を目前に控えた今日、地球温暖化をはじめとした環境問題は、物流企業の社会的責任として環境の負荷低減に取り組み、21世紀も美しい空であってほしいと願いをこめて、「そらいろレポート」を作成しました。

2000年12月



代表取締役社長

栗和田 崇一

# 経営理念

21世紀統一スローガンの策定(1998.4)

佐川急便21世紀統一スローガン

## 安全、環境、そしてサービス。 すべての品質を、世界標準へ。

### 安全

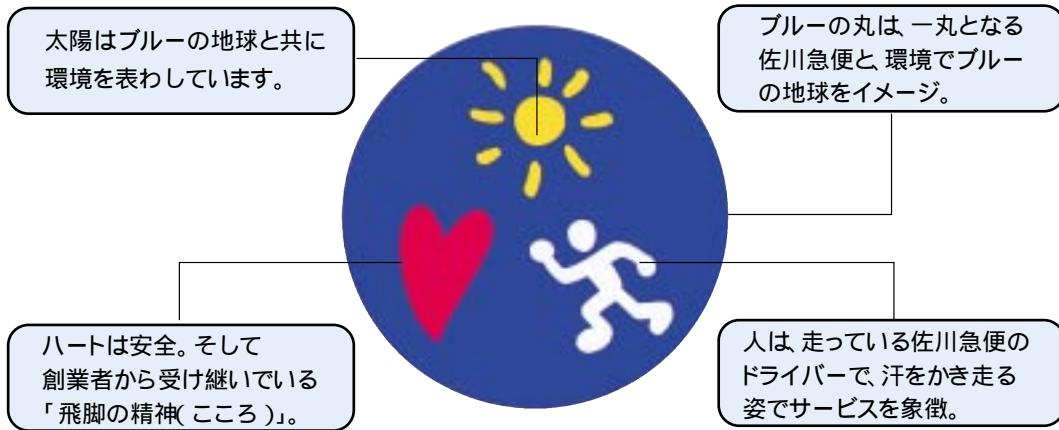
我々は運送会社であり、グループ車両約22,000台が公共の道路を使い営業しています。何よりも、安全が第一です。

### 環境

21世紀に向けて、日本だけではなく世界の何処の国でも環境の事を考えないで、健全な生活、健全な企業活動は行えません。環境を考えた企業活動を行います。

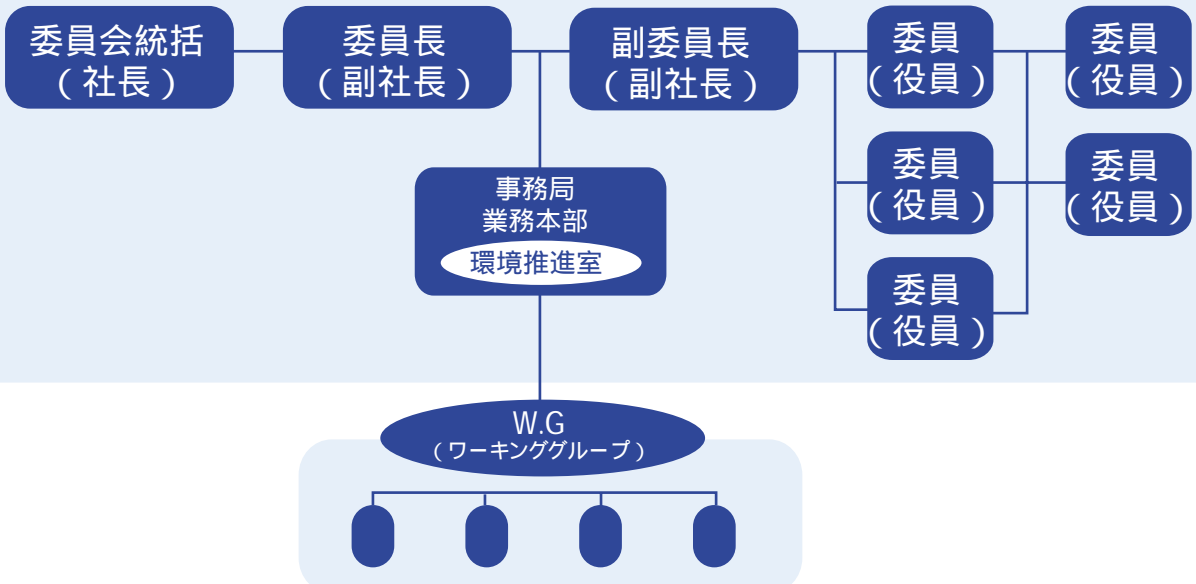
### サービス

サービスは基本ポリシーで、大きな目標の「お客様に信頼される輸送品質」の構築を行います。



エコプロジェクト推進委員会発足(1997.6)

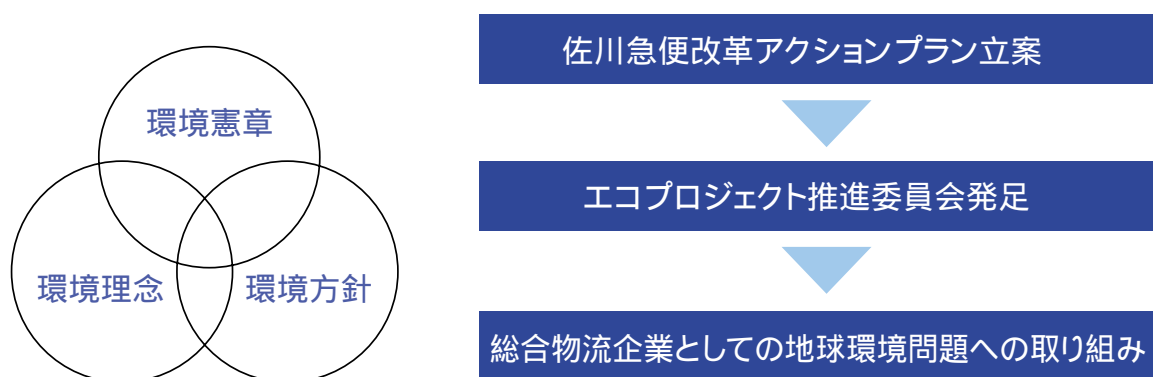
### エコプロジェクト推進委員会組織と機能



## 環境憲章 / 環境理念 / 環境方針の策定( 1998.4 ~ 2001.1 )

環境問題への取り組みは、佐川急便にとって社会的責任を果たすための重要な活動となります。

そこで私たちは、環境推進企業として一丸となってこの問題に取り組むための憲章・理念・環境方針を定め、それに基づいて行動計画を策定していき、環境報告書の策定やISOの取得を目指します。



### 佐川急便環境憲章( 1998.4 )

佐川急便は、企業市民として、誠意をもって地球規模の環境保全と地域社会の持続的発展に取り組み、健全で調和した環境の創出に貢献します。

### 環境基本理念( 1998.4 )

環境問題とサービスの融和を、社会との共生のなかで実現していきます。

「佐川急便と、社員一人ひとりがすること、できること」をスローガンに自社の活動、サービスが環境に与える影響の重要性を認識し、環境保全及び環境負荷の低減のため、以下の方針に基づいて行動します。

### 環境方針( 2001.1 )

1. 排出ガスによる大気汚染、地球温暖化等を防止するため、エコドライブ、低公害車導入を推進し、環境負荷の継続的な改善を図り、地球環境の汚染を予防します。
2. 省資源、省エネルギー運動を推進し、廃棄物の削減、リサイクルに取り組み、それらにつながるサービス及び改善の企画、提案をして社会に貢献します。
3. 環境関連法規制、条例、協定及びその他の要求事項等を遵守し、地域社会に配慮するとともに、地域住民及び各種団体がすすめる環境保全活動に積極的に参画します。
4. 全社的な環境教育、啓発活動を行い、本方針の周知徹底と意識、知識の向上を図るとともに、広く一般に開示します。
5. 環境目的、目標を設定し、定期的に見直すことにより、環境マネジメントシステムの継続的な改善を推進します。





# 企業を取り巻く課題の中から 佐川急便は、まず空気のことから考えました

## 空気を汚さない努力

### 会社としてできること

低環境負荷型企業への改革  
新しいエネルギーの導入  
・ハイブリッド車  
・天然ガス車  
・電気自動車  
  
社員の意識啓蒙  
・啓発ステッカーの作成

### 組織としてできること

エコドライブの推進  
アイドリングストップ宣言  
エコライフ100万人の誓い  
ステッカー等の提示

### 個人としてできること

エコドライブの実践  
アイドリングストップの実践  
エコライフの実践  
環境問題への自己啓蒙

## 空気をきれいにする努力

### 会社としてできること

環境保全のための活動  
直接的な活動  
緑化運動の導入  
・植林  
間接的な活動  
水質保全  
・汚水処理  
資源のリサイクル

### 組織としてできること

緑化運動の推進  
コンピュータ化によるペーパーレス化宣言  
省エネルギーの推進  
リサイクル物資の積極的活用

### 個人としてできること

緑化運動への参加  
ペーパーレスの実践  
省エネルギーの実践  
リサイクルの実践

社員一人ひとりが

生活者としての実践  
**エコライフ**

# 環境負荷低減への取り組み

1991. 3 低公害車導入開始(電気自動車、メタノール車)

1997. 6 エコプロジェクト推進委員会発足  
 アイドリングストップキャンペーン開始  
 (環境庁との協賛で全車輛へ貼付)



1997. 6 天然ガス車導入開始



京都支社で導入された天然ガス車(CNG車)

1997.11 京都支社で低公害車(天然ガス車)5台導入



Less CO<sub>2</sub> キャンペーンステッカー

Less CO<sub>2</sub> キャンペーンステッカー全車輛へ貼付け提示  
 「エコライフ100万人への誓い」参加

1997.12 COP3開催への協賛  
 京都国際漫画展への環境啓発パネル出展



京都国際漫画展での出展パネル

低公害車(ハイブリッド車)導入開始

1998. 5 Sagawa Sports Festival'98 に於いて環境啓発ゾーン設置  
 社内行事開催時に機会を生きし、社員と地域住民への環境啓蒙・啓発実施

1998. 6 環境庁長官より表彰 エコプロジェクト推進委員会  
 が表彰される(環境への取り組み)

環境庁長官より表彰

- ・キー抜き、エンジンスタープ運動
- ・アイドリングストップキャンペーン
- ・エコロジーカーの導入
- ・氷蓄熱式空調システム(エコ・アイス)の導入



氷蓄熱式冷暖房施設の保有台数世界一(1事業所として)の一宮SRC

エコ・ライフフェア'98地球にやさしい企業・技術展出展(東京、代々木)

1998. 9 衣・食・住エコロジーフェア'98出展(東京、大田区)



衣・食・住エコロジーフェア'98

エコ・ライフフェア'98



1991. 3 電気自動車 5台導入(大阪)  
 1991. 3 メタノール車 5台導入(東京)  
 1996. 8 メタノール車 10台導入(東京)  
 1997. 5 メタノール車 5台導入(大阪)  
 1997. 6 天然ガス車 1台導入(大阪)  
 1997. 7 天然ガス車 10台導入(大阪)  
 1997.11 天然ガス車 5台導入(京都)  
 1997.11 天然ガス車 2台導入(中京)  
 1997.12 ハイブリット車 3台導入(北陸)

1998. 1 天然ガス車 5台導入(東京)  
 1998. 3 天然ガス車 5台導入(大阪)  
 1998. 3 天然ガス車 2台導入(北関東)  
 1998. 4 天然ガス車 1台導入(大阪)  
 1998. 5 ハイブリット車 1台導入(本社)  
 1998. 6 ハイブリット車 1台導入(大阪)  
 1998. 6 ハイブリット車 1台導入(京都)  
 1998. 6 ハイブリット車 1台導入(東京)  
 1998. 8 天然ガス車 1台導入(中京)  
 1998. 8 ハイブリット車 1台導入(東京)  
 1998. 9 天然ガス車 2台導入(東京)  
 1998.10 天然ガス車 1台導入(京都)  
 1998.10 天然ガス車 3台導入(中京)  
 1998.11 天然ガス車 1台導入(大阪)  
 1998.11 ハイブリット車 1台導入(中京)  
 1998.11 天然ガス車 1台導入(東京)  
 1998.12 天然ガス車 8台導入(大阪)  
 1998.12 天然ガス車 4台導入(中京)  
 1998.12 ハイブリット車 1台導入(東京)  
 1998.12 天然ガス車 1台導入(東京)



1999. 2 ENEX'99出展 3会場

- ・東京会場
- ・名古屋会場
- ・神戸会場



ENEX'99

1999. 4 運輸業界で初めて「CNGスタンド」を設置  
(東京支社内)



SAGAWA Sports Festival'99



1999. 5 Sagawa Sports Festival'99 に於いて環境啓発ゾーン設置

1999. 6 エコ・ライフフェア'99 低公害車フェア出展  
(東京、代々木)

エコ・ライフフェア'99



1999. 9 滋賀環境ビジネスメッセ'99 に出展

滋賀環境  
ビジネスメッセ'99

京都環境フェスティバル



1999. 12 京都環境フェスティバル出展

エコプロダクツ'99出展(東京、ビッグサイト)

エコプロダクツ'99



2000. 2 ENEX2000出展 3会場

- ・広島会場
- ・東京会場
- ・仙台会場



ENEX2000(広島会場)



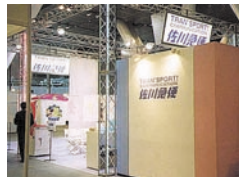
ENEX2000(東京会場)



ENEX2000(仙台会場)

物流と環境フェア2000出展(東京国際フォーラム、東京、丸の内)

物流と環境フェア2000



2000. 4 国際環境展出展(東京、ビッグサイト)

国際環境展



2000. 5 Sagawa Sports Festival 2000に於いて環境啓発ゾーン設置

SAGAWA Sports Festival 2000



2000. 6 エコ・ライフフェア2000出展(東京、代々木)

エコライフ・フェア  
2000



2000. 7 環境循環型施設瀬戸内パーク竣工  
環境啓発クイズラリー施設内に組み込み

横浜FC省エネ共和国出展



瀬戸内パーク竣工式



横浜FC省エネ共和国

2000. 12 エコプロダクツ2000出展

- 1999. 1 天然ガス車 3台導入(大阪)
- 1999. 1 天然ガス車 1台導入(京都)
- 1999. 1 天然ガス車 2台導入(中京)
- 1999. 1 天然ガス車 9台導入(東京)
- 1999. 1 天然ガス車 1台導入(北海道)
- 1999. 2 天然ガス車 9台導入(大阪)
- 1999. 2 天然ガス車 2台導入(北関東)
- 1999. 2 天然ガス車 1台導入(北海道)
- 1999. 3 天然ガス車 1台導入(中京)
- 1999. 3 天然ガス車 1台導入(九州)
- 1999. 3 天然ガス車 2台導入(中国)
- 1999. 3 天然ガス車 1台導入(大阪)
- 1999. 3 天然ガス車 1台導入(京都)
- 1999. 5 天然ガス車 2台導入(東京)
- 1999. 6 天然ガス車 3台導入(京都)
- 1999. 6 天然ガス車 22台導入(東京)
- 1999. 7 天然ガス車 6台導入(大阪)
- 1999. 7 天然ガス車 4台導入(京都)
- 1999. 8 天然ガス車 2台導入(京都)
- 1999. 9 ハイブリット車 1台導入(九州)
- 1999. 9 天然ガス車 3台導入(大阪)
- 1999. 9 天然ガス車 1台導入(中京)
- 1999. 9 天然ガス車 1台導入(京都)
- 1999.10 天然ガス車 2台導入(中京)
- 1999.11 天然ガス車 2台導入(北関東)
- 1999.12 天然ガス車 1台導入(大阪)

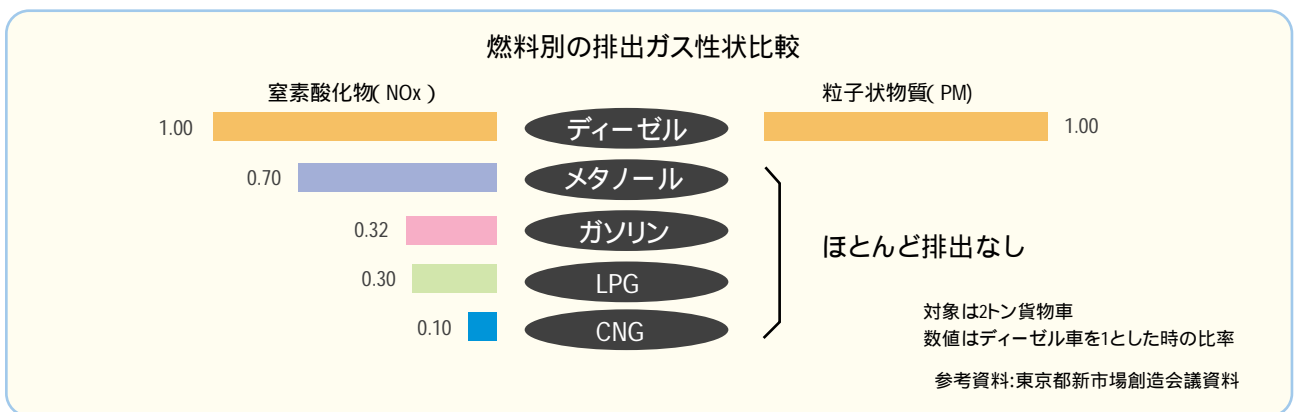
- 2000. 1 天然ガス車 1台導入(大阪)
- 2000. 2 天然ガス車 6台導入(大阪)
- 2000. 2 天然ガス車 4台導入(東京)
- 2000. 2 天然ガス車 1台導入(東北)
- 2000. 3 天然ガス車 1台導入(大阪)
- 2000. 3 天然ガス車 2台導入(中国)
- 2000. 3 天然ガス車 1台導入(大阪)
- 2000. 3 天然ガス車 4台導入(中京)
- 2000. 3 天然ガス車 22台導入(東京)
- 2000. 3 天然ガス車 1台導入(東北)
- 2000. 3 天然ガス車 3台導入(北海道)
- 2000. 6 天然ガス車 1台導入(中京)
- 2000. 8 天然ガス車 1台導入(中京)
- 2000. 8 天然ガス車 3台導入(東京)
- 2000. 9 天然ガス車 1台導入(中京)
- 2000. 9 天然ガス車 3台導入(東京)
- 2000.10 天然ガス車 14台導入(大阪)
- 2000.10 天然ガス車 2台導入(東京)
- 2000.11 天然ガス車 1台導入(東京)
- 2000.11 天然ガス車 2台導入(北関東)
- 2000.11 天然ガス車 2台導入(北海道)
- 2000.11 天然ガス車 4台導入(京都)

2001. 1 天然ガス車 26台導入(東京)

# 環境負荷低減への取り組み

物流企業にとって、トラックは必要不可欠なものです。  
しかしながら現状では大きな環境負荷をかけていることは  
否めません。

物流企業の環境対策としては、トラックの出す排気ガスへの対策が急務です。  
トラックの排出ガス対策を進める上で低公害車への転換は、もっとも優先すべき方策です。  
佐川急便は地球環境を守るために、トラックから排出される有害物質NOx(窒素酸化物)・CO<sub>2</sub>(二酸化炭素)を  
大幅に減らす「低公害車」の導入を推進してきました。  
今後、低公害車の導入にあたり最も「環境に優しい」天然ガス車の導入を推進していきます。



低公害車の推進には、導入に於ける現状の問題、車両価格・燃料供給スタンドの設置に対し具体的な対策が必要です。これらの問題解決のためには自動車ユーザー、自動車メーカー、燃料関連事業者(スタンド)が連携をとりながら、行政と共に対策推進を図らなくてはなりません。

佐川急便は、東京都が提案する新市場創造戦略会議(CNG車及びLPG車等新市場の創造に向けた取り組みを進めるための会議。2000年<平成12年>6月5日~)に推進委員として参画し、自動車ユーザーの立場から低公害車の推進・導入にかかわる問題解決のための施策を積極的に提案してまいります。

そしてこれらの活動を基盤として、今後も天然ガス車を中心とした「低公害車」の導入を推進します。



ハイブリッド車



メタノール車



## 低公害車の導入

「低公害車」には「天然ガス車」「ハイブリッド車」「メタノール車」「電気自動車」などの種類があり、佐川急便では1991年(平成3年)の初期導入以来すでに全国で約250台の低公害車を導入しています。

(2000年<平成12年>12月現在)

特に天然ガス車は小型トラックにおける全国普及台数の約13%を保有し、さらに導入を推進してまいります。

天然ガス自動車は、CNG(圧縮天然ガス)・LNG(液化天然ガス)・ANG(吸着貯蔵天然ガス)の3種類。

現在、世界各国で利用されている天然ガス自動車のほとんどは、CNG(圧縮天然ガス)自動車で、次のようにすぐれた特長があります。

天然ガス車

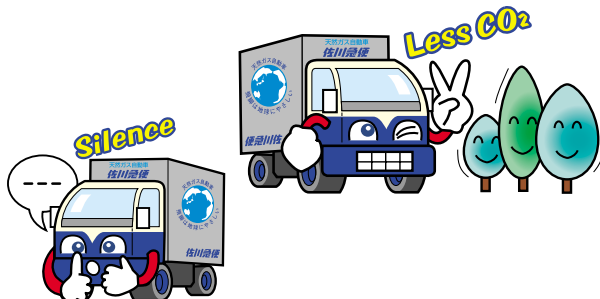


## 天然ガス車の特性

### クリーンな排出ガスで環境に優しい

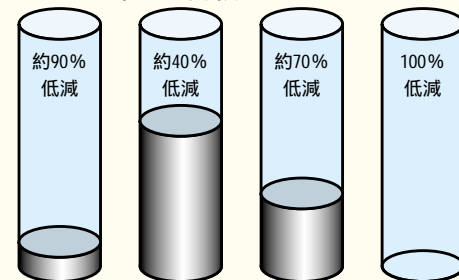
最大の特長は、大気汚染の原因となるNOx(窒素酸化物)・CO(一酸化炭素)・HC(炭化水素)などを大幅に削減し、また燃料中に不純物が少ないため、黒煙の排出はほとんどありません。

さらに地球温暖化の原因になるCO<sub>2</sub>(二酸化炭素)の発生量もガソリン車より2~3割低減できます。



1回の充填で約230~270km走行(市街地)ロングボディ仕様車で  
燃料タンク容量:52m<sup>3</sup>(200kg/CM<sup>3</sup>)(いすゞ4HF1改4,334ccエンジン)

### ディーゼル車との比較



(窒素酸化物) (一酸化炭素) (炭化水素)

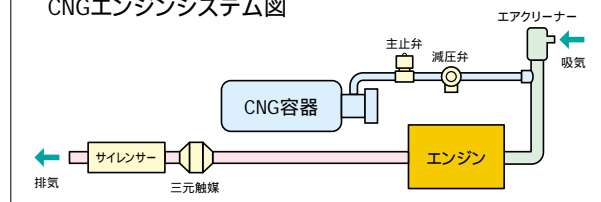
天然ガス車とディーゼル車は、測定モードが異なります。よって上記のグラフは、比較の一例としての参考値です。

### 優れた静粛性を実現しています

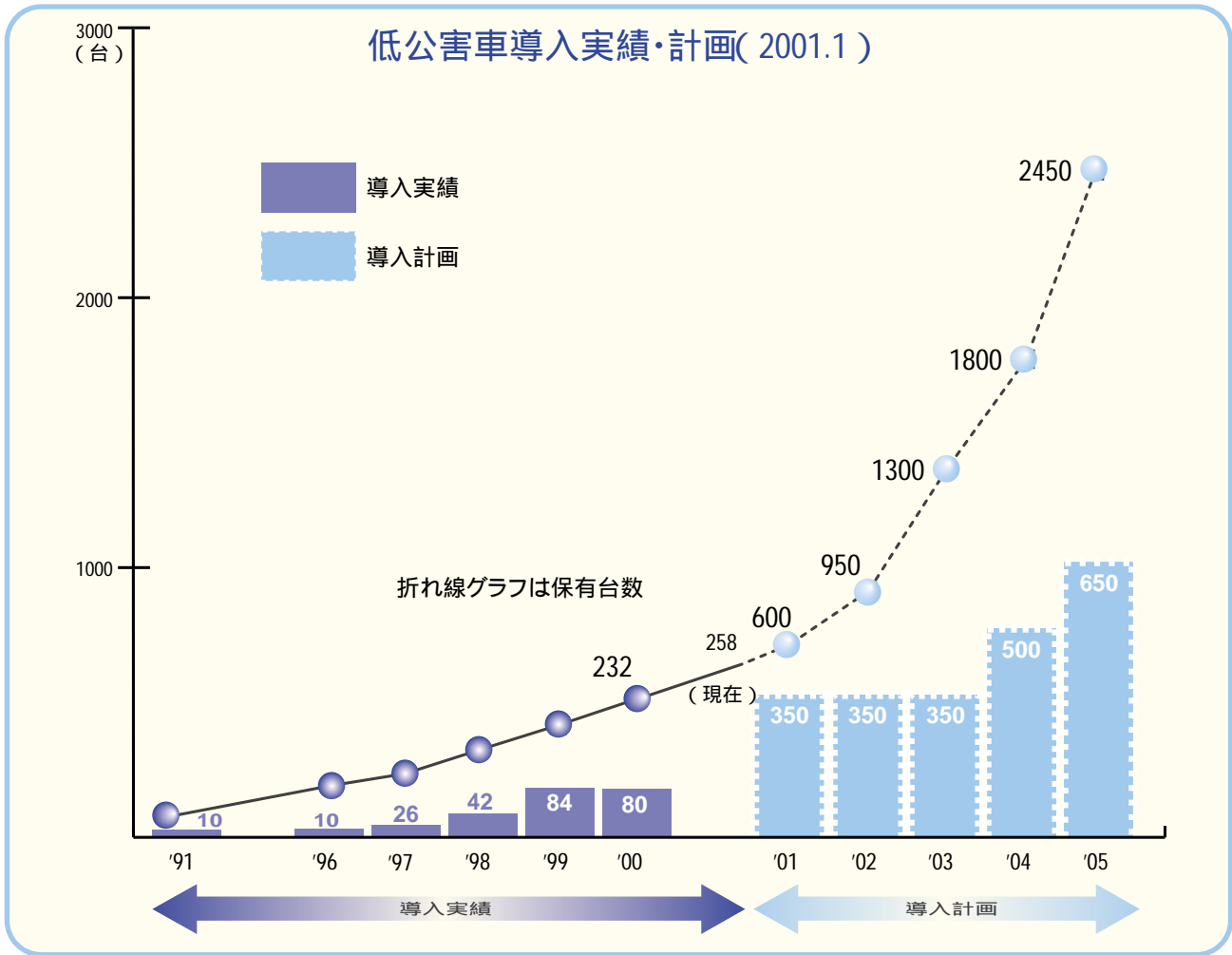
佐川急便が採用しているトラックのCNGエンジンは、最高出力125psです。

すぐれた動力性能を発揮しながら、CNGエンジンならではの、まるでやかな燃焼により、すぐれた静粛性を実現し、騒音や振動が少ないのも特徴です。

### CNGエンジンシステム図



# 環境負荷低減への取り組み



低公害車保有台数 (2001.1)

地区	車種	天然ガス車	ハイブリッド車	メタノール車	計
九州		1台	1台		2台
中国		4台			4台
大阪		72台	1台	5台	78台
京都		22台	2台		24台
北陸			3台		3台
中京		23台	1台		24台
東京		103台	3台		106台
北関東		8台			8台
東北		2台			2台
北海道		7台			7台
計		242台	11台	5台	258台

佐川急便保有天然ガス車両数

**242台**

(2001.1.現在)

国内天然ガス車両数

全車種合計 6,211台(乗用車含む)

トラック合計 1,718台

社団法人日本ガス協会資料(2000.11.30現在)



## 此花区低公害車普及推進会議で大阪支社の天然ガス車を展示(1997.7)



青い地球がシンボルマークの天然ガス車。  
現在大阪市内を走っているのは61台。

大阪ベイエリアトラック・エコステーションは大阪店のすぐそばにあります。

大阪市主催の「此花区低公害車普及推進会議」設立総会において、天然ガス車を展示。大阪店のある此花区は、低公害車普及のモデル地区に選ばれており、低公害車の燃料を供給するエコステーションが設置されています。

展示会は低公害車の燃料供給所でもある大阪ベイエリアトラック・エコステーションで行われました。

佐川急便から出展した天然ガス車は6月の「環境月間」に合わせて、大阪支社が10台導入したうちの1台です。



天然ガスの供給機。  
府内15か所に設置されています。

### 大阪市此花区で普及促進 佐川急便・大ガスが導入

大阪市内で7月から天然ガス自動車の普及促進活動が本格化する。大阪市が全国の自治体で初めて、同市の此花区を低公害車のモデル地域に指定。同市内に事業所のある佐川急便と大阪ガスが天然ガスの自動車を導入した。

此花区ではこのほど、低公害車の普及を目指す「此花区低公害車普及推進会議(仮称)」を設立。低公害車展示場も開設する。大阪市は今後、天然ガス自動車など低公害車の購入を助成するほか、モニター車を企業などに貸し出して普及を促進する計画。

同区に事業所がある佐川急便大阪支社は7月1日から、業務用で使用する2トントラック10台を天然ガス自動車に切り替えた。同支社は今後5年間で全車両(2,617台)の約1割を天然ガス車にする方針。

日経産業新聞 平成9年7月4日

## 運輸業界で初めて東京支社内に「CNGスタンド」を設置(1999.4)

低公害車の導入にあたり、課題となるのはエネルギー補給の問題です。佐川急便はこれまで外部に依存してきましたが、天然ガス車導入が進むに従い、もっと燃料補給をスムーズに、且つ円滑なサービスを行うために運輸業界では初めて、自社でCNG(圧縮天然ガス)充填施設を東京支社内に設置しました。



この施設は、1時間あたり300立方メートルの圧縮機、蓄ガス器、ディスプレイで構成。

2トントラックでは1台当たり4~5分で充填でき、トラックを1日8時間稼働させる場合、約80台の充填が可能です。

# 環境負荷低減への取組み

道具もさることながら、大切なことは人間一人ひとりが環境のことを意識して、日々実践することです。



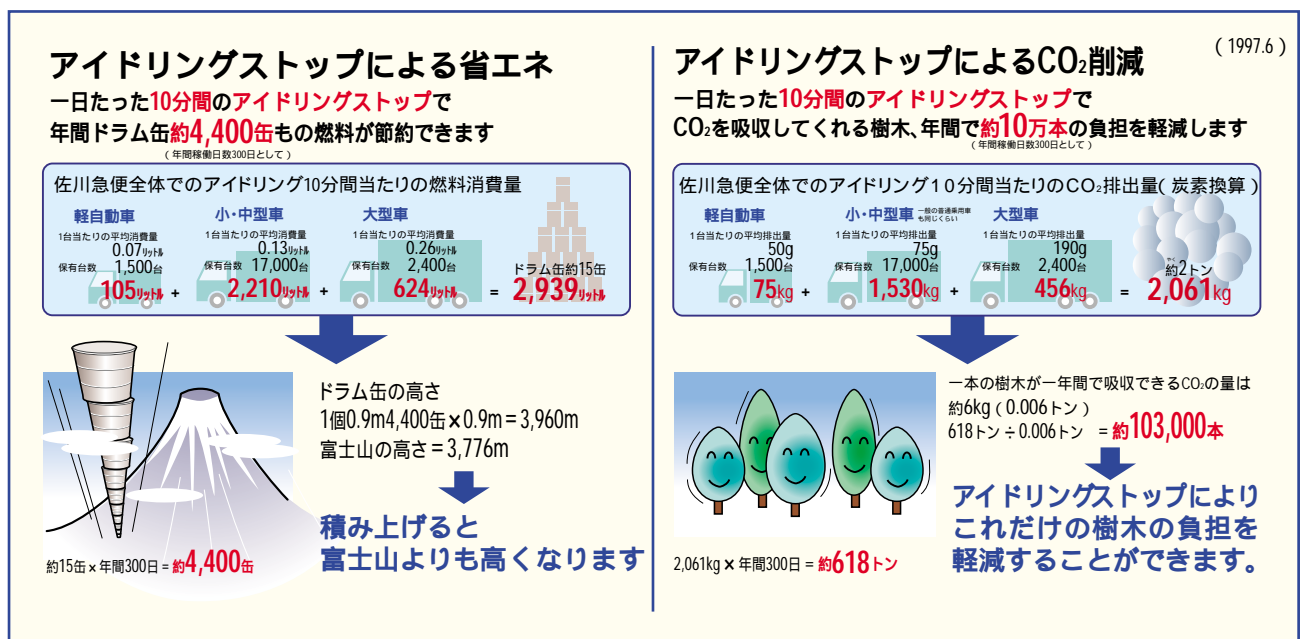
車両を運転するのは人間です。それならば人間一人ひとりの行動啓発が重要な課題となります。

大気をこれ以上汚さないために人間一人ひとりができることとして、セールスドライバーをはじめとした全社員にエコドライブの実践を啓発しています。その活動のひとつがアイドリングストップです。

アイドリングストップとは車の停車中はエンジンを切る行為のことです。

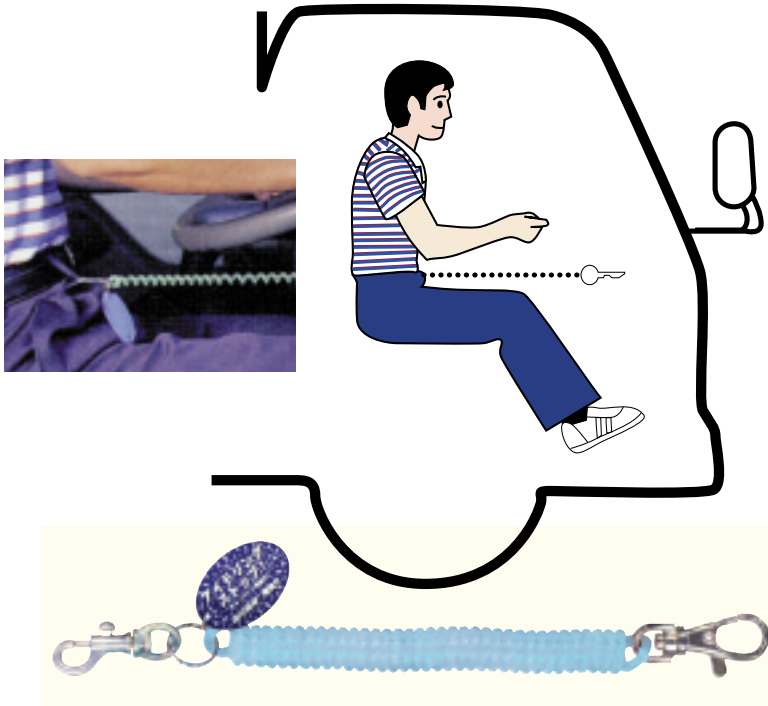
車の排気ガスに含まれる有害物質( NOx <窒素酸化物>、CO<sub>2</sub> <二酸化炭素> )の排出を少しでもへらすため、佐川急便のセールスドライバーは「アイドリングストップ」を常に心がけています。全国20,000人のセールスドライバーがそれを実践しています。

4トン積みディーゼルトラックのアイドリングストップ10分間あたりで94～120gの二酸化炭素を出さずにすみませす「アイドリングストップ」を確実に行うことで、下記の効果が得られることが立証されています。



参考資料：講談社「地球を救うかんたんな50の方法」

行動で実践



ドライバー一人ひとりが実践

自動車から排出されるCO<sub>2</sub>(二酸化炭素)は、地球温暖化の原因となり、環境悪化につながります。

佐川急便ではできるだけCO<sub>2</sub>を出さないために「低公害車」の導入やセールスドライバー一人ひとりが停車時にはエンジンを切る「アイドリングストップ」を常に実践しています。

アイドリング・ストップを確実に実践する為に  
キーチェーンの製作、ドライバーへの配付

キーチェーンとはドライバーとトラックのエンジンキーをつなぐ腰ひものことで、ドライバーがトラックを離れるときに確実にエンジンを切らないと運転席から離れられません。これによって確実にアイドリングストップは実行されます。

設備で実践

アイドリングストップ車

アイドリングストップ&スタートシステムは、車両の停止、発進に合わせエンジンを自動停止、自動始動を行うものです。車両が完全に停止し、チェンジレバーがニュートラルでパーキングブレーキを引いた時にエンジンが自動停止し(アイドリングストップ)また、エンジン停止後トランスミッションがニュートラルで、ブレーキペダルを踏んだ状態でパーキングブレーキを戻すことによりエンジンが自動始動(スタートシステム)します。

ISS搭載車は、大阪支社1台・中京支社1台、東京支社2台、北関東支社1台の計5台が試験導入されています。



自動停止

- 条件
- 1.エンジンがアイドリング
  - 2.車速が0km/h
  - 3.ギアポジションがニュートラル
  - 4.主ブレーキを踏む
  - 5.パーキングブレーキを引く

→自動停止

発進と走行(10km/h以上)をし、上記の状態  
で車を止め、パーキングブレーキを引くと  
アイドリングストップシステムが働き  
エンジンは自動停止します。

インジケータランプ(緑)  
アイドリングストップスイッチ

自動始動

- 条件
- 1.エンジンが停止  
車速が0km/h
  - 2.主ブレーキを踏む
  - 3.パーキングブレーキを解除する

→自動始動

チェンジレバーがニュートラルで  
ブレーキペダルを踏み込んだ状態で  
パーキングブレーキを戻すことにより  
エンジンは自動始動します。





## 氷蓄熱式空調システム(エコアイス)世界最多台数を導入

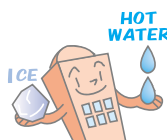
一宮SRCは日本列島の中心、中京地区に位置しており輸送の均一したサービス提供において、物流拠点としては最適な立地であり、まさに物流大動脈の心臓部にあたります。施設規模としては当社SRC最大規模を誇り、また陸運業の物流施設としても国内最大級であると自負しております。佐川急便では全社を上げてアイドリングストップやエコロジーカー(天然ガス車、メタノール車、ハイブリッド車)の導入を初め、地球環境保全のためのさまざまな取組を実施しております。その一環として、一宮SRCの空調システムに**氷蓄熱式空調システム(エコアイス)**を一事業所としては世界最多台数となる208台導入しました。



### 氷蓄熱式空調システム(エコアイス)の特長

エコアイスは化石燃料比率が低く、**安価な夜間電力**を利用し、夏は**氷**、冬は**温水**を蓄え昼間の**冷暖房に活用**することにより、エネルギー削減に加えて、CO<sub>2</sub>の排出の抑制を図れることから地球温暖化防止に役立つ空調システムです。

導入したエコアイスは個別分散タイプで、1台当たり10馬力相当で最大2,131Kwを夜間にシフトすることができ、費用の面でも約30%削減できるなど、経済的メリットも大きく何かと注目されているシステムです。



## 伝票レス、伝票枚数削減でペーパーレスを促進

佐川急便では飛伝シリーズCS-EXPRESSを活用した出荷オンラインシステムで、伝票レスと伝票枚数の削減によるペーパーレスを促進し、環境負荷低減を図っています。

### 荷札を高速印字

送り先コードと個数を入力するだけでOK

### ペーパーレス化

送り状はワンタッチでデータ送信が可能

### SAXISに対応

(SAXIS...SAGAWA EXPRESS INFORMATION SYSTEM)

ネット対応貨物追跡サービス等、オンラインで様々な情報サービスを受けることが可能



お客様導入例



### 手書き入力

コンピュータに入力しなくてもペンタッチ操作や手書き入力ができるので簡単に登録作業ができます。

### 便利な機能



### 電子電話帳CD-ROM

4,100万件の電子電話帳データを採用。電話番号を入力することで荷受人様の名前・住所などのエントリーが簡単・スピーディーにできるようになりました。

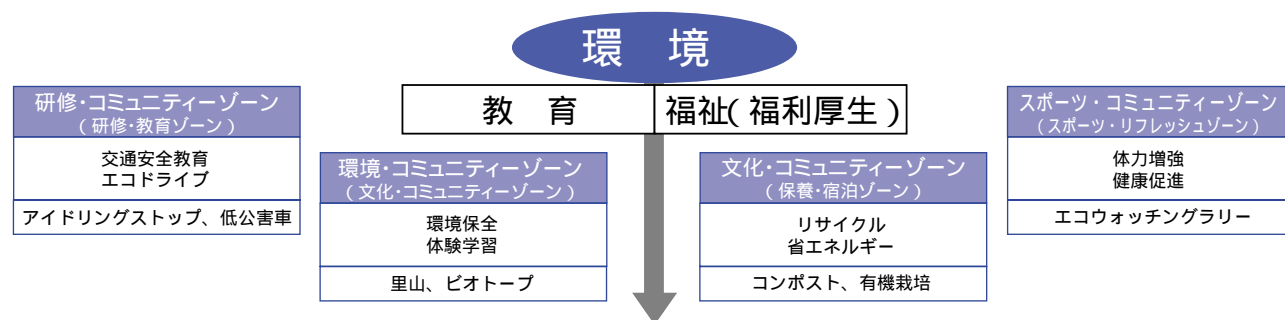
# 環境負荷低減への取り組み

社員保養施設における環境保全対策により社員とその家族にも環境啓発を推進しています。

佐川急便瀬戸内パークの事例

## 21世紀統一スローガンに基づく、エコライフの実践

～環境にやさしい人づくり～



環境教育の基本  
リサイクル(資源として再利用)・リユース(再利用)・リデュース(減らす)  
～3つの視点から私たちにできることから実践し、体験する～

**総合体験学習の視点から見た総合運営プログラムと  
ゾーン別運営プログラムの構築**

環境修復、環境保全、地域住民との交流を柱とした  
環境をテーマとした教育・福祉の機能を持つ施設(コミュニケーションツール)

施設開発段階から施設運営に至るまでのすべてのプロセスにおける  
**環境循環・完結型施設構成を生かしたプログラム**  
プログラム=施設(ゾーニング)及び運営

佐川急便瀬戸内パークは開発段階から環境循環・完結のアイデンティティを持った施設です。  
運営面においても同様にその姿勢を貫き、自然にエコライフを体験・実感できる構成とすることを狙いとしました。

環境循環完結とは...

施設開発段階(土木工事着工時)から施設運営(現在、そして将来)に至るまでの全てにおいて、リサイクル(資源として再利用)・リユース(再利用)・リデュース(減らす)といった環境保全の概念を取り入れることです。

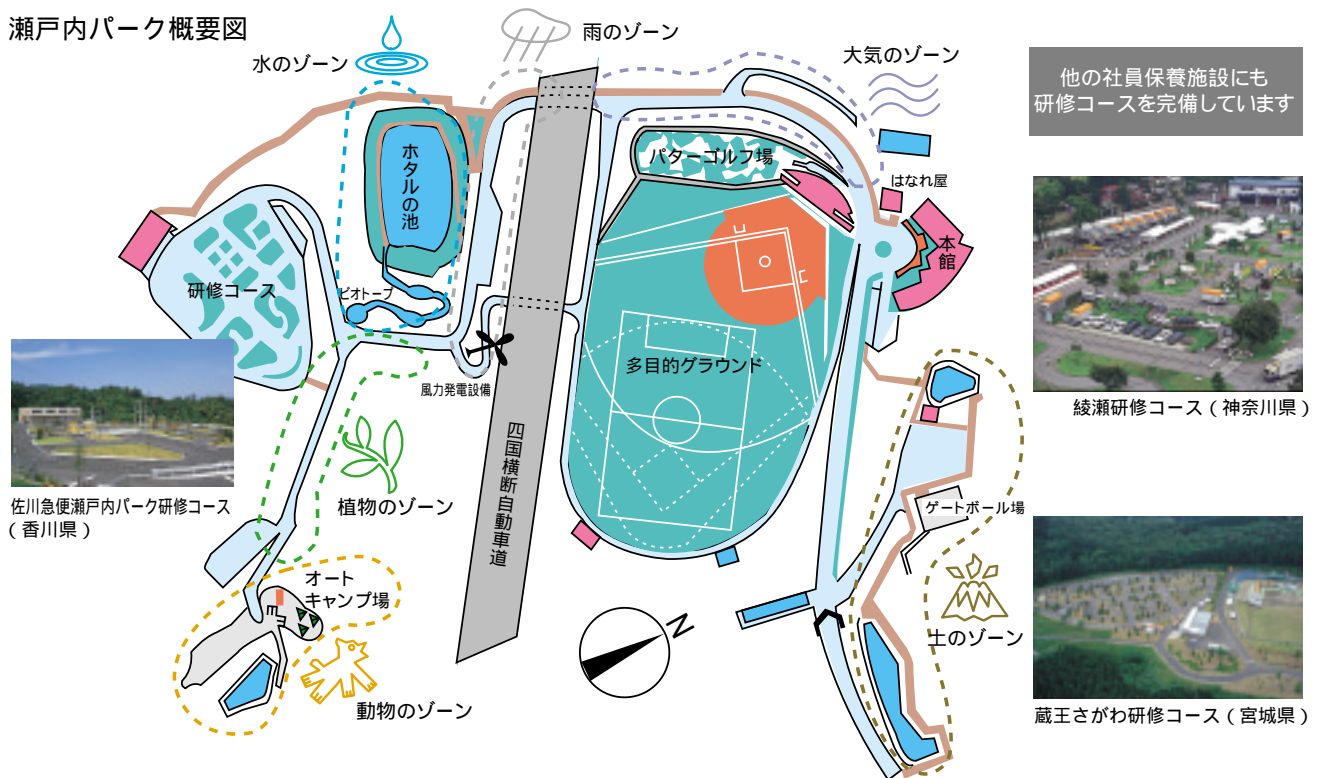
だから...

- 現地発生石材の利用(石積み擁壁、建物外壁) → **石材や土砂をごみとして出しません**
- 生ごみ処理装置の導入(農園肥料として利用) → **生ごみを再利用して堆肥にします**
- 風力発電を主たるエネルギー源とした、水の浄化とせせらぎ及びピオトープの設置 → **無駄なエネルギーを使いません**
- 大雨時の洪水防止のための雨水の灌水として開発された多目的グラウンド、各地に設けられた調整池 → **雨水の再利用で水を節約します**
- 排水基準の自己規制(10ppm～20ppm) → **汚水に含まれるごみを出しません**

現在、佐川急便瀬戸内パークでは環境プログラムのひとつとして、環境クイズラリーを常設しております



瀬戸内パーク概要図



せせらぎを作り、メダカとそれに関連する生物(水草など)を生息させ、自然な水の浄化を目指し、ビオトープを復元しています。

ビオトープ:語源はギリシャ語のbio(生き物) top(場所)から成る。  
biotope(ドイツ語):地域の野生生物の生息空間の意。



省エネルギーの実践として、風力発電による電力を作り出しています。



生ごみを大量に出さないためにコンポスト製造器を設置し、堆肥を作っています。ここで使われているものは処理槽の中で菌によって生ごみを発酵させ、分解するタイプのものです。これにより、当施設から出る生ごみの量は約1/10～1/5に減量できます。

佐川急便守山パークでは、汚水や生活排水を浄化し、琵琶湖に還元。

佐川急便守山パークは、文化、芸術、スポーツの発信地として1998年に開設されました。ここでは毎年、社内イベントである「Sagawa Sports Festival」が催され、社員と家族の交流の場ともなっています。その際、設けられる屋台からの汚水対策として、合併処理槽を設置。これにより、排水口から流された汚水、生活排水を1か所で浄化した後、



合併処理槽

琵琶湖に還すという処理システムを施設内で行っています。



# 環境負荷低減への取り組み

## 「できること」からひとつずつ。

佐川急便では、地球環境保全のために社内・外の環境美化を始め「できることから」取り組んでいます。

### 地域とのつながりを大切に、身近な環境保護活動

多岐にわたって深刻化し続けている環境問題。その元凶は、安易に捨てられる廃棄物、つまりごみから始まっています。ポイ捨てされたタバコの吸い殻や紙屑が積みも積もって、町並みや水辺といった環境を汚染しています。地域社会とのつながりを大切にする佐川急便グループでは、各地で地域住民の方々と一緒に、あるいは独自の活動として「ごみ拾い活動」や自然保護活動を積極的に展開しています。具体的な活動としては、富士川のクリーン大作戦への参加を始め、エコドライブの実践、「エコライフ100万人への誓い」への参加など社員一人ひとりができることから一つずつ実践しています。



### リングブルのリサイクル運動に参画

北海道江別市の野幌商店街振興組合青年部様のご依頼により、全国の小・中学校やボランティア団体で集められたリングブル(缶ジュースなどの缶を開けるためのプルタブ)を集荷・保管・管理することとなりました。江別市から日本全国へと展開を広げるにあたり、全国ネットの佐川急便に回収システム構築の依頼があり、北海道支社窓口にお手伝いすることとなったのです。善意と善意をつなぎ、環境・福祉・教育に大きな貢献となる業務として推進しています。

### 社内報、社内広報ビデオにより社員に対し、環境啓発を実践

毎月発行の社内報「飛脚」と社内広報ビデオ「ふれあい」。  
環境に関する記事は年々増加しています。



### グリーン購入



### エコマーク

財団法人日本環境協会の認定によるマーク。環境を汚さない、環境を改善できる環境保全商品についています。環境庁の指導のもと、「環境的により良い商品」を推薦しようとするものです。

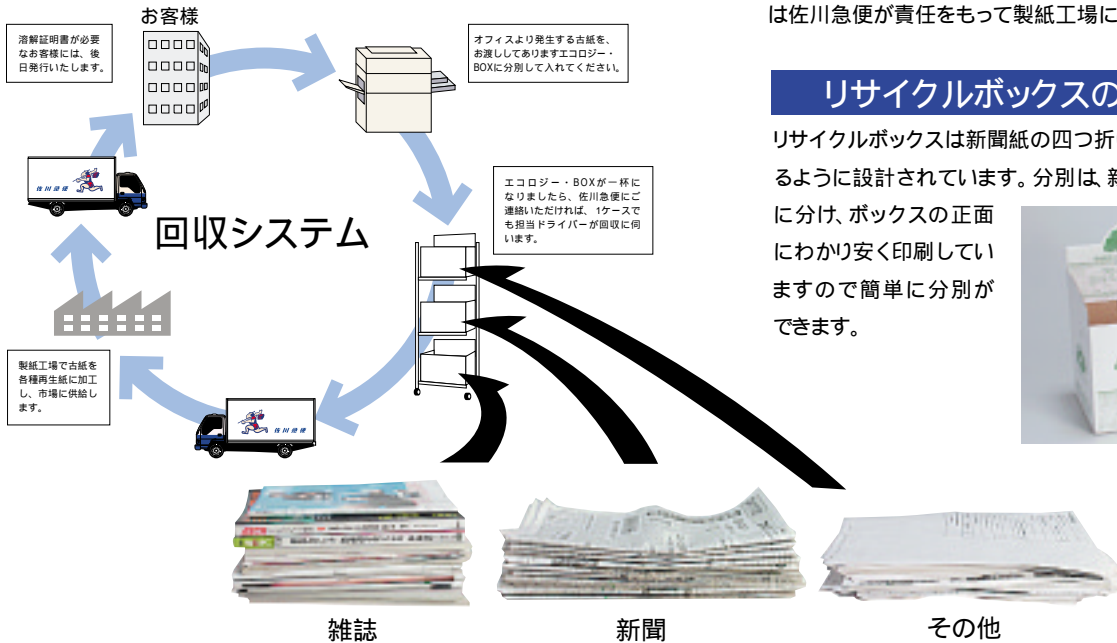
### グリーンマーク

古紙を再利用した製品につけられているマーク。グリーンマーク事業は省資源、省エネルギーのため財団法人・古紙再生促進センターが設けた制度で、古紙利用商品についているグリーンマークを一定数集めた学校、町内にお礼として緑の苗木を贈ります。

## 連携による取り組み・リサイクル回収システム

リサイクルボックス回収、充電式電池リサイクルも一部地域での試験サービス中。現在のところ、全国でのサービスは行っておりませんのでご了承ください。

佐川急便では、地球環境保全のために身近なところから取り組み、そのシステム化を図っています。一部地域での取り組みですが、リサイクル・ボックスの回収システムについてご紹介します。



### リサイクルボックス回収のしくみ

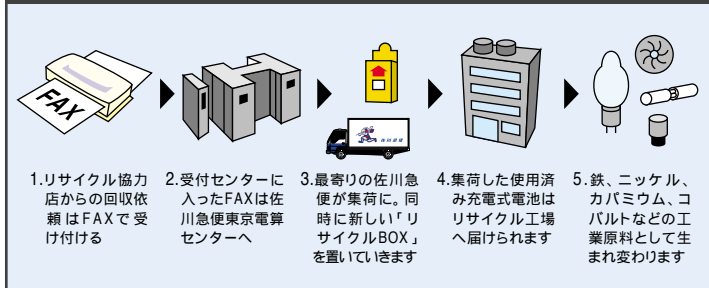
まず、リサイクルボックスをお届けします。リサイクルボックスに記載されている内容にしたがって、ご不要になったオフィスの古紙を分別して投入します。ボックスが一杯になりましたら、担当ドライバーが回収します。お預かりした古紙は佐川急便が責任をもって製紙工場に持ち込みます。

### リサイクルボックスの使い方

リサイクルボックスは新聞紙の四つ折りの大きさが楽に入るように設計されています。分別は、新聞紙、雑誌、その他に分け、ボックスの正面にわかりやすく印刷していますので簡単に分別ができます。



### 充電式電池リサイクルの流れ



### 充電式電池のリサイクルBOX

佐川急便では、社団法人電池工業会様が展開されています「充電式電池のリサイクル運動」のリサイクル電池の運送業務を担当させていただいております。これは店頭に設置されたリサイクルBOXに投入



された使用済み充電式電池をBOXごと回収するシステムです。連絡を頂き、リサイクルBOXの回収にお伺いするときに新しいBOXを持参し代わりに設置しておきます。集荷した、使用済み充電式電池はリサイクル工場に届けられ、鉄、ニッケル、カドミウム、コバルトなどの工業原料として生まれ変わります。

### 中古トラック寄贈でリサイクルを図る (ペルー、中国、モンゴル)

財団法人佐川国際経済協力会では、経済・産業発展に協力、国際親善の一助とし、また充分活動できる性能のトラックのリサイクルを行う目的で、これまでも中国へ3,000台、モンゴルへ100台、ペルー共和国へ150台の中古トラックを寄贈しています。

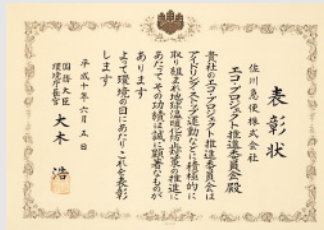




# Publicity

## 環境庁長官より表彰 環境保全への取り組みを評価

「環境の日」の6月5日、東京渋谷の東邦生命ホールで、環境庁主催による「環境の日のつどい」が開催され、環境保全に顕著な功績を残した個人・団体・企業を称え、表彰式が行われました。表彰された理由としては「キー抜き・エンジンストップ運動」「アイドリングストップキャンペーン」「エコロジーカーの導入」「氷蓄熱式空調システム・エコアイス」など地球温暖化防止対策に積極的に取り組んできたこと



表彰状

が評価されたためです。 1998.6

## 地球温暖化防止月間の 全面広告を日本経済新聞に掲載



キャンペーンステッカー

## Less CO<sub>2</sub>運動 佐川急便など7組織 環境庁

【東京＝北原秀紀】

環境庁は17日、地球温暖化防止を目的に、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の削減を訴える「Less CO<sub>2</sub>運動」に取り組む企業として佐川急便(株)(栗和田榮一社長、京都市南区)など6社、1団体を発表した。12月の地球温暖化防止国際会議(京都会議)を控え、同庁は、環境に優しい製品やサービスを提供するエコビジネスを行っている企業や団体に京都会議の支援を訴えるLess CO<sub>2</sub>運動

への自主的な取り組みを要請。この結果、6社、1団体が参加。佐川急便はトラックの全面にエコドライブを訴えるステッカー、キヤノン(株)も自社および関係企業の物流を担当するトラックに、ステッカーを貼る。デザインは沖縄の版画家、名嘉睦稔氏の提供によるもの。

このほか、トヨタ自動車(株)、出光興産(株)、東日本旅客鉄道(株)環境事業団地環境基金がテレホンカード、オレンジカード、ポスター、Tシャツなどを配付する。同庁では今後も参加企業を募る。 1998.6



## 天然ガス自動車の導入に高い 評価

### 環境問題に対する佐川急便の 姿勢を講演会でPR

「企業の成長には環境問題との共存が必要」

天然ガス自動車の普及促進を目的とする天然ガス自動車フォーラム(会員数341団体)からの依頼を受け、1998年9月18日、新宿パークタ

ワーホテルにおいて開催された同会主催「第23回研究会」に出席。「佐川急便の環境への取り組みと天然ガス自動車の導入について」と題した講演を行いました。ガス燃料エンジンや自動車メーカーの技術的側面に基ついた話題が多い中、天然ガス自動車のユーザーであるという立場からの発言で多数の参加者の関心を集めました。



東京都の公官庁・行政問題を中心に報道する都政新報。

## 大阪南港 「ATCグリーンエコプラザ」 に環境ブースを常設展示

循環型社会づくりを目指す最新の環境  
ビジネスを紹介し、環境ビジネスの活  
性化をはかり、ひいては環境問題の有  
効な解決策の一助とすることを目的と  
して開設された「ATCグリーンエコプ  
ラザ（大阪環境産業振興センター）」に環境ブースを出展しています。



## 東京都 新市場創造戦略会議

- CNG車及びLPG車等新市場の創造に向けた取り組みを進めるための会議 -  
2000年6月5日～2000年11月20日 第1回～第4回

弊社は自動車ユーザーの立場から東京都が提案する新市場創造戦略会議（CNG車及びLPG車等新市場の創造に向けた取り組みを進めるための会議）に推進委員として参画しています。

この会議は、東京都における地球温暖化防止・大気汚染の低減の為に、この主な発生源となっているディーゼル車の排出ガスへの対策を協議するとともに環境に優しい「低公害車」の普及拡大を目的としています。会議では「低公害車」の導入促進に向け、様々な現状の問題に対して解決する為の施策を提案し、関連する他の団体、自動車メーカー・燃料供給事業者・行政と連携を取りながら積極的に環境保全対策を実施します。又、この会議に於いて「新市場創造東京宣言」が採択されました。

尚、この活動は今後関東を中心とした自治体の連合体により推進し全国規模の活動に向けて展開して行くことも併せて提案され、採択されました。

### 新市場創造東京宣言

- 1 CNG車・LPG車を積極的に導入します。
- 2 CNG・LPGのスタンドを増やします。
- 3 CNG車・LPG車の車種を増やし、価格を下げます。

東京の深刻な大気汚染を改善し、都民の健康を守るため、より低公害車の大量普及を促進させなければなりません。私達は、この取り組みの輪を広げて、CNG車・LPG車の新市場を創造します。

平成12年11月20日  
新市場創造戦略会議

CNG車...天然ガス車 LPG車...プロパンガス車

環境庁、公健協会(公害健康被害補償予防協会)主催

## 「総合的な自動車環境対策の展開に向けて」討論会

弊社社長栗和田榮一がトラック事業者の立場から出席、現状の取り組みと今後の施策について提案

討論者

川口順子氏(かわぐち よこ) 国務大臣 環境庁長官  
浅野直人氏(あさの なおひと) 福岡大学法学部長  
村松昭夫氏(むらまつ あきお) 日本弁護士連合会  
栗和田榮一氏(くりわだ えいいち) 佐川急便株式会社社長  
福島 徹二氏(ふくしま てつじ) 横浜市環境保全局公害対策部長



大気汚染防止のために、今何をすべきか。

### テーマ 自動車の環境対策全般について

環境庁と公健協会では、一年のうちで大気汚染濃度が最も高くなる12月を「大気汚染防止推進月間」とし、自動車利用者や工場・事業者の方々に広く大気汚染防止を呼びかけています。

現在、中央環境審議会でも、自動車NOx法の改正についての議論がなされているところですが、今回の討論会では、大気汚染の主要原因の一つである自動車の環境対策全般をテーマに、今後の制作の動向やとるべき施策について話し合っていました。 (読売新聞2000年12月1日(金) 朝刊)



佐川急便社長栗和田榮一



# 社内環境啓発活動

## 優良ドライバーの育成

佐川急便では、安全運転はもとより、運転教育の一環として、エコドライブの実践を指導しています。計画ドライブ、適正空気圧、安定走行、円滑発進、アイドリングストップ、等速走行などの実践で地球環境保全のための環境負荷の低減に積極的に取り組んでいます。



蔵王さがわ研修コース



綾瀬研修コース



佐川急便瀬戸内パーク研修コース



運転競技においては、迅速・確実・丁寧な運転技術を要求。同時にエコドライブの実践を指導しています。



日常の業務に則した日常点検競技。車両の整備はエコドライブと密接に関わっています。



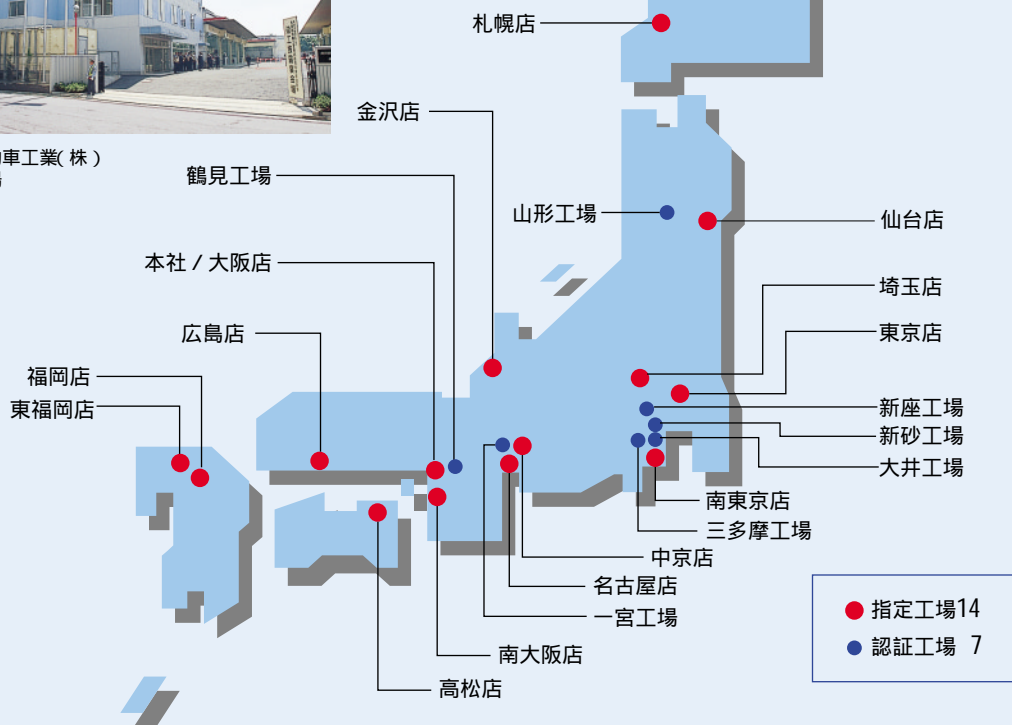
交通法規への意識が問われる学科競技。配達員の誤配を防ぎ、無駄な配送をなくすための店番競技など、筆記試験も行われます。

## 全国規模で展開、佐川急便の車両整備体制

佐川急便の21世紀統一スローガン、「安全、環境、そしてサービス。」を推進するにあたり、車両整備は重要であり、その根幹を佐川急便の関連会社である佐川自動車工業(株)が担っています。黒煙等の排出を削減するためにも日頃の車両整備は重要であるといえます。



佐川自動車工業(株)  
鶴見工場



### 東洋一の整備工場、佐川自動車工業・南東京店

1998年5月、佐川自動車工業・南東京店(神奈川県川崎市)が竣工しました。

南東京店は、ますます増大する佐川急便グループの車両整備に対応するため新設された佐川自動車工業14番目の店舗で、業界でも指折りの工場規模を誇ります。

工場にはクイックリフト(沈下式)等の最新設備が導入されており、一日にトラック20台、月に最大500台まで処理できる整備体制が整えられています。



陸運局に代わって車検が行える民間車検工場としても機能しています。



# 社内環境啓発コミュニケーションイベント

## 社内における環境イベント

佐川急便21世紀統一テーマ「安全・環境・そしてサービス」に基づき、Sagawa Sports Festivalを開催。その中で環境コーナーを行いました。

地球環境保全に関して正しい認識と意識を持つことを目的とし、参加型のイベント内容により、社員と社員の家族、地域の方々に身近な啓発・啓蒙を行っています。

開催実績		来場者数
<p>【イベントタイトル】 Sagawa Sports Festival '98</p> <p>第26回 佐川急便全国野球大会 第9回 佐川急便全国綱引競技大会</p> <p>環境イベントテーマ 「環境保全について — 私たちにできることを考える — 」</p> <p>【啓蒙】 1.パネル展示 【啓発】 2.環境什器</p>		<p>コーナー 2,210名</p>
<p>【イベントタイトル】 Sagawa Sports Festival '99</p> <p>第27回 佐川急便全国野球大会 第10回 佐川急便全国綱引競技大会</p> <p>環境イベントテーマ 「地球環境のために、私たち、そしてみんなにできること」</p> <p>【啓蒙】 1.クイズラリー 2.パネル展示 【啓発】 1.間伐材の輪切り競争 2.間伐材クラフト 3.紙すき工房 4.ソーラーカーレース</p>	  	<p>コーナー 4,785名</p>
<p>【イベントタイトル】 Sagawa Sports Festival 2000</p> <p>第28回 佐川急便全国野球大会 第11回 佐川急便全国綱引競技大会 第6回 佐川急便全国サッカー大会</p> <p>環境イベントテーマ 「環境の未来を運ぶ佐川急便」</p> <p>【啓蒙】 1.クイズラリー 2.パネル展示 【啓発】 1.ソーラーカーレース 2.間伐材クラフト工房 3.ヨシと牛乳パックの紙すき工房</p>	   	<p>コーナー 4,570名</p>



Sagawa Sports Festival 環境コーナー



間伐材クラフト / 間伐材の意義  
森林保護とリサイクル  
・CO<sub>2</sub>対策、植林活動  
・資材の有効活用



ソーラーカーレース / 新エネルギーとしての太陽電池(ソーラーシステム)  
・Less CO<sub>2</sub>(地球温暖化防止)  
・化石燃料を使わないエネルギー



紙すき工房 / リサイクルと環境保全  
・パルプとリサイクル(仕組)  
・水質汚染

間伐材の輪切り競争 /  
リサイクルと環境保全

環境啓発パネル

### いろいろなエネルギー

自然の力を利用した  
エネルギー

水 風 太陽

地球の資源を使って  
作るエネルギー

まき・石炭 天然ガス 石油

私たちはいろんなエネルギーを使って暮らしています。  
くらしを便利にするエネルギーを得るために石油や石炭をどんどん燃やしていると空気の中にCO<sub>2</sub>が増え温室のような効果になり、地球の平均温度がどんどん上がってきました。  
地球の温度が上がると、海氷がとけて海面が上がったり、異常気象が起こり農作物が育ちにくくなるなど悪い影響が出ます。そのためにはムダなエネルギーを使わずできるだけCO<sub>2</sub>を出さない努力とCO<sub>2</sub>を出さないエネルギーを作り活用する努力をしなければなりません。

## Less CO<sub>2</sub>

### 地球温暖化防止のために

できるだけCO<sub>2</sub>を出さない努力  
**省エネルギー**

佐川急便ではアイドリングストップをしています。

CO<sub>2</sub>を出さない  
エネルギー  
**新エネルギー**

佐川急便では天然ガスや電気で走る自動車も使っています。

省エネ・新エネ

森林保護



資源リサイクル



間伐材の意義



# 社内環境啓発開発プロセス

## 社内イベント開催時における環境アンケート実施

### 社員への啓発

環境保全の認識を深める

— 日常の活動の意味を知る —

- ・CO<sub>2</sub>問題
- ・ごみ問題
- ・森林破壊問題
- ・騒音問題
- ・水質汚染問題
- ・交通問題

### ファミリーへの啓発

身近な生活の中で環境のことを考える

— 生活での実践のためのきっかけづくり —

- ・資源のこと
- ・水のこと
- ・空気のこと
- ・エネルギーのこと

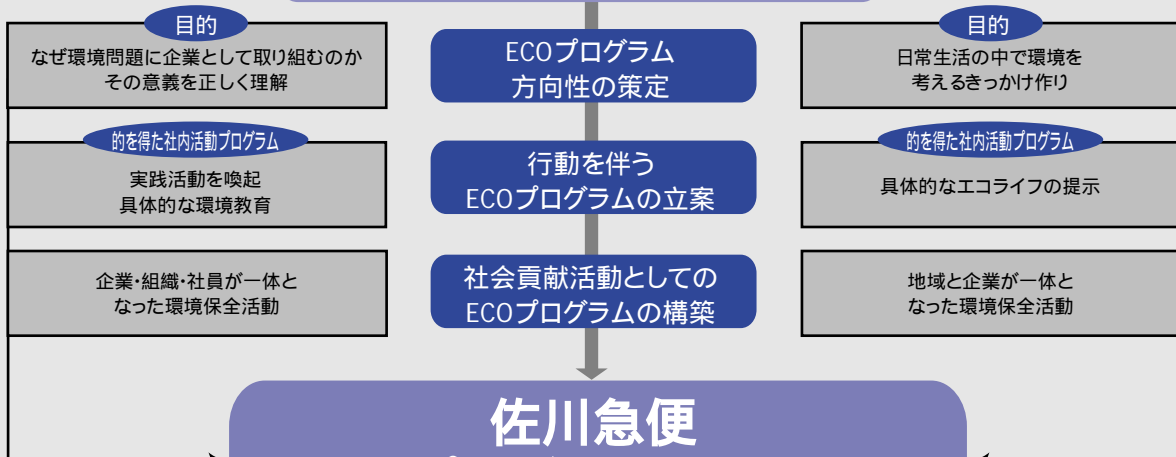
佐川急便の環境保全への思い

触れること・感じることから始まる環境保全  
子どもたちへのやさしい環境教育

現状把握

啓 発

## 参加者の意識調査 環境アンケートの実施



## 佐川急便 ECOプログラムへの連動

環境活動の喚起

正しい認識と行動の喚起

環境意識の啓発

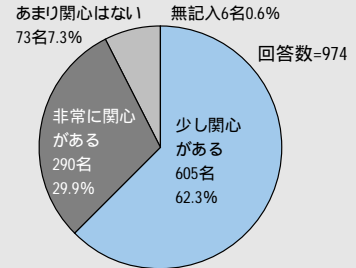
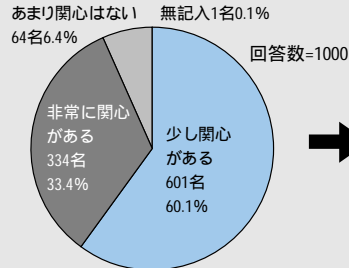
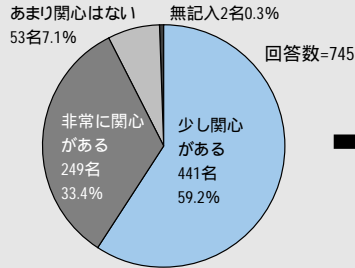
## 環境アンケート結果

1998年

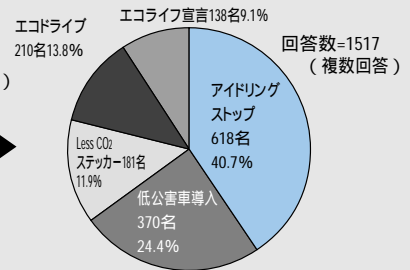
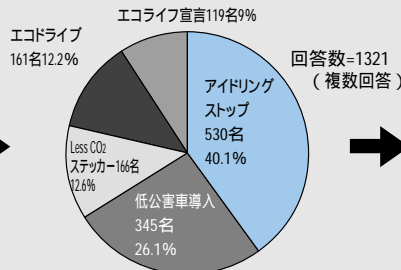
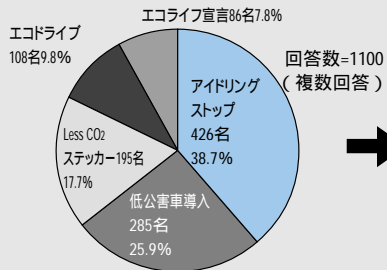
1999年

2000年

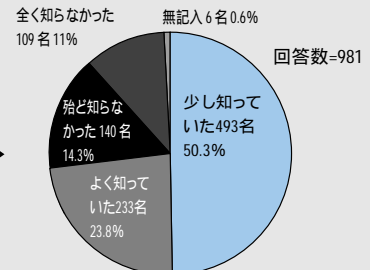
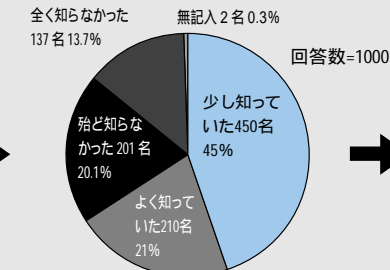
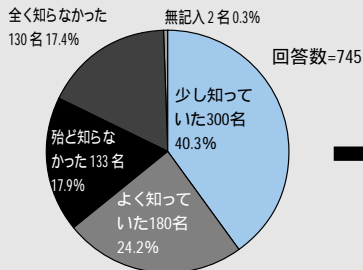
環境保全について関心をお持ちですか？



佐川急便が行っている環境保全活動でご存知のものがありますか？



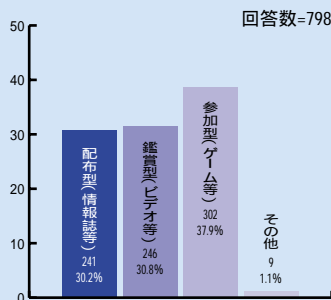
佐川急便が環境保全について様々な活動を行っていることをご存知でしたか？



環境保全への取り組みについてお伺いします。

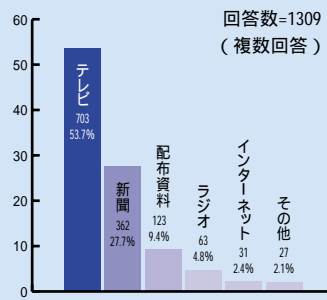
1998年

学ぶための方法



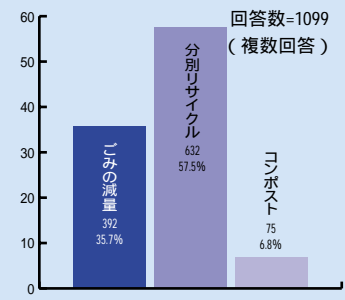
1999年

環境に関する情報の入手先



2000年

実行しているエコライフは？



# 環境啓発コミュニケーションイベント

## 社外における環境イベント出展

イベントを通しての環境啓発活動は1997年12月の京都国際マンガ展への環境啓発パネル出展を始めとして環境庁主催の環境月間啓発イベント、エコ・ライフフェア・低公害車フェア、通産省主催の省エネルギー月間啓発イベント、ENEX'99、ENEX2000など様々な機会を通して、総合物流企業としての環境保全への取組を紹介するとともに、社会への環境保全活動の啓発を行っています。特に、弊社が実践している環境保全活動の紹介やイベントに参加される方の視線で行う環境保全活動の呼びかけは、具体的で解りやすいと好評を頂いております。環境保全活動推進に向け「唱え」そして「行動・実践」を佐川急便は行います。

出展実績		来場者数
'97	環境パネルを出展( 京都国際漫画展 )	( 主催者発表 )
'98	エコ・ライフフェア'98・低公害車フェア	20,000名
'98	衣・食・住エコロジーフェア	20,601名
'99	ENEX'99( 東京・名古屋・神戸 )	45,853名
'99	エコ・ライフフェア'99・低公害車フェア	32,573名
'99	滋賀環境ビジネスメッセ'99	40,100名
'99	京都環境フェスティバル	
'99	エコプロダクツ'99	47,449名
'00	ENEX2000( 広島・東京・仙台 )	69,230名
'00	物流と環境フェア2000	8,000名
'00	国際環境展	51,059名
'00	エコ・ライフフェア2000	3,890名
'00	横浜FC省エネ共和国	5,000名
'00	京都環境フェスティバル	25,000名
'00	エコプロダクツ2000	67,838名



## 環境コミュニケーションイベントコンセプト

### 佐川急便 環境循環型企業への革新

総合物流企業としての環境改善サイクル  
 総合物流企業として、経済の持続的発展と環境との調和を見据えた環境マネジメントシステムの構築

テーマ  
 環境の21世紀を見据えた、  
 総合物流企業としての佐川急便の取り組み

#### 概要

低環境負荷型企業から、環境循環型企業への革新をはかるための計画と実践プロセスの紹介  
 また、経済を支える総合物流企業の紹介とその立場からの身近な環境保全活動の実践紹介

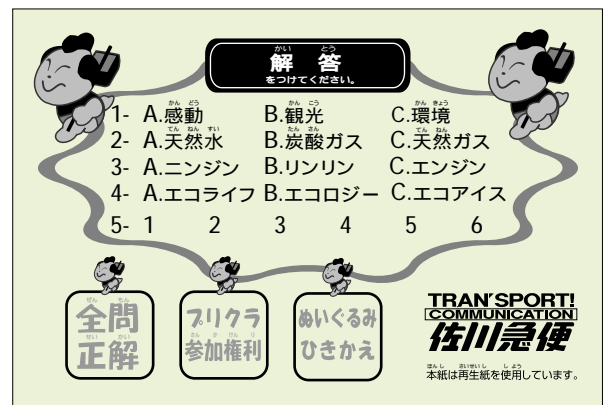
総合物流企業としての取り組み

環境循環型企業への取り組み

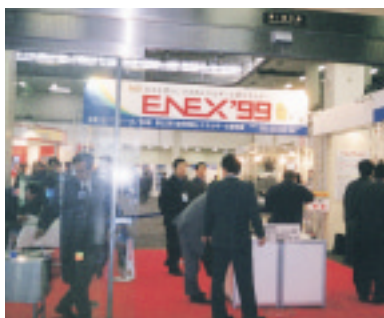
環境保全活動の実践紹介



エコ・ライフフェア'98



クイズラリー用解答用紙



ENEX'99会場（名古屋）



ENEX'99佐川急便ブース



クイズラリー受付

# 環境啓発コミュニケーションイベント

## 社外環境啓発活動におけるテーマの変遷

### 佐川急便 —— 低環境負荷型企业への改革 ——

#### テーマ

1997.12

Less CO<sub>2</sub>!

1998.6 ~  
1998.9

アイドリングストップってなあに？

1999.2 ~

地球環境のために、  
私たち、そしてみんなにできること

1999.5 ~

環境の未来をはこぶ佐川急便

#### 概要

環境のために佐川急便が実践している活動内容を通し、  
みんなができることから実践することの大切さを呼びかける

#### 佐川急便の提言

私たちに、そしてみんなにできる  
アイドリングストップ運動の推進

#### 役割

アイドリングストップに関する  
普及・広報活動の展開運動の  
オピニオンリーダー

#### 実践記録

- ・アイドリングストップ
- ・キーレスチェーンの使用
- ・低公害車の導入
- ・エコアイスの導入
- ・Less CO<sub>2</sub>！ステッカーの提示
- ・環境啓発運動への参加

一人ひとりが  
できることから

総合物流企業としての環境循環型企业への革新



Less CO2!

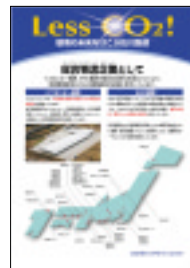
アイドリングストップってなあに？



地球環境のために、私たち、そしてみんなにできること



環境の未来をはこぶ佐川急便





# 環境啓発コミュニケーションイベント

## エコ・ライフフェア '98 地球にやさしい企業・技術へ

地球温暖化の防止をはじめ、環境を守るための取り組みとして、企業、各種団体の環境を守る技術や製品開発への取り組みの紹介へ出展。物流企業としての環境への取り組みの現状を、具体的な事例を交えてわかりやすく紹介。

【開催タイトル】 エコ・ライフフェア'98

【展示テーマ】 「アイドリングストップってなあに？」

【日 時】 1998年6月6日（土）  
6月7日（日）

【会 場】 国立代々木競技場・渋谷プラザ



環境保全に関する佐川急便の取り組みのパネル展示と環境ジオラマの設置により、参加者へ佐川急便の環境保全に関する姿勢と、具体的な実践事例で認識を深める。

また、集配車として導入している低公害車の実物展示( キャプション・パネル展示 )により、日常の活動と身近な事例を実感する。

< パネル展示 >

- ・佐川急便の企業姿勢
- ・なぜ環境問題に取り組むのか。
- ・企業を取り巻く社会問題に佐川急便としての取り組みを考える。
- ・アイドリングストップってなあに。
- ・佐川急便の環境対策計画と具体的な実践事例。

< 環境什器 >

- ・環境問題への取り組み姿勢の解説。
- ・現在取り組んでいることの紹介と具体例。



来場者が気軽に参加できるイベントを通して、読むこと、参加することから環境保全について佐川急便の取り組みを理解いただき、エコライフに関して考えるきっかけをつくる。

### 出展パネル

**Less CO<sub>2</sub>!**  
アイドリング・ストップってなあに？

安全、環境、そしてサービス。

青い地球の中で「ハート」が安全、「太陽」が環境、「人」がサービスをあらわすこのマークは佐川急便の21世紀に向けたシンボルマークです。青い地球を守るため佐川急便にできる環境保全運動とは何かを考えました。

① 下の文章の○の中にはなんという文字が入るかな？  
佐川急便の統一スローガンは「安全、○、○、そしてサービス。」

(A) 感動 (B) 観光 (C) 環境

**Less CO<sub>2</sub>!**  
アイドリング・ストップってなあに？

トラックは私たちにとって  
欠かせない道具なのです。

だから排気ガスに含まれる有害物質（窒素酸化物・二酸化炭素）を大幅に減らすことのできる「低公害車」をできるかぎり導入していく予定です。「低公害車」には「天然ガス」「ハイブリッド車」「メタノール車」「電気自動車」などの種類があります。佐川急便はすでに50台もの低公害車を導入しています。そして西暦2000年までに全国で500台の導入を計画しています。

② 下の文章の○○○の中にはなんという文字が入るかな？  
「低公害車」には○○○車、ハイブリッド車、メタノール車、電気自動車がある。

(A) 天然水 (B) 炭酸ガス (C) 天然ガス

**Less CO<sub>2</sub>!**  
アイドリング・ストップってなあに？

車の停車中はエンジンを切る！  
それが「アイドリング・ストップ」!

車の排気ガスに含まれる有害物質（窒素酸化物、二酸化炭素）の排出を少しでも減らすため、佐川急便のセールスドライバーは「アイドリング・ストップ」を常に心がけています。

③ 下の文章の○○○の中にはなんという文字が入るかな？  
アイドリング・ストップとは「車の停車中は○○○を切る」こと

(A) ニンジン (B) リンリン (C) エンジン

## 第2回 新・生活用品見本市 衣・食・住エコロジーフェア

【開催タイトル】 第2回 新・生活用品見本市 衣・食・住エコロジーフェア  
 考えて買う・考えて捨てる・それだけで地球はうれしい  
 —自分ができるエコライフを見つけてください。—

【展示テーマ】 「アイドリングストップってなあに？」

【日 時】 1998年9月18日（金）  
 9月19日（土）  
 9月20日（日）

【会 場】 大田区産業プラザ（Pio）



### <クイズラリー>

・展示パネルとクイズの連動で、来場者が確実にパネルの内容を読み解答をする。正解者には、プリントクラブ参加権とひきやく君ぬいぐるみの獲得権を提供。

### <飛脚プリントクラブ>

・プリントクラブのシールフレームをオリジナルで作成し、そのフレームの中に環境保全に関する呼びかけを導入。(Less CO<sub>2</sub>!)デザインでは、佐川急便の21世紀に向けたシンボルマークを取り入れたものと、キャラクターとしてのひきやく君をデザイン処理したものと、2種類準備。

### <低公害車ミニチュアカー展示>

・天然ガス車、メタノール車、ハイブリットカーのミニチュアカーを効果を明示して展示。車体はできる限り、実物のイメージを反映。

### <ひきやく君着ぐるみの周廻>

・定期的に飛脚君着ぐるみを会場に登場させ、入口から佐川急便ブースまで来場者を誘導し、集客を図る。

### 解答チェックシート



# 環境啓発コミュニケーションイベント

## ENEX'99

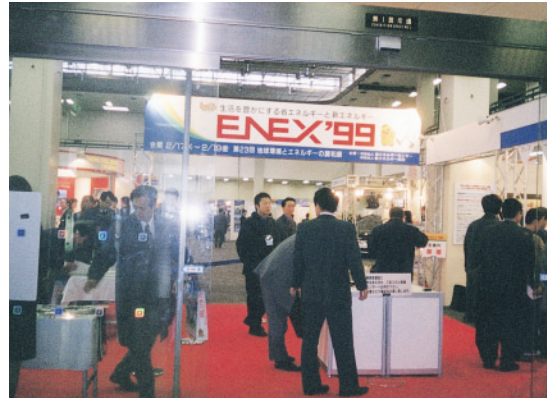
【開催タイトル】 ENEX'99  
第23回 地球環境とエネルギーの調和展

【出展テーマ】 地球環境のために、私たち  
そしてみんなにできること

【日時】 東京会場：1999年2月3日（水）～6日（土）  
名古屋会場：1999年2月17日（水）～19日（金）  
神戸会場：1999年2月25日（木）～27日（土）

【会場】 東京会場：科学技術館  
名古屋会場：愛知県産業貿易館  
神戸会場：神戸国際展示場

省エネルギー、新エネルギーへの取り組みと環境保全への活動をパネル展示を中心に展開し、佐川急便の取り組み姿勢を紹介、具体的な実践事例で認識を深める。  
また、プラズマディスプレイでの環境取り組み活動の紹介と最新のCMの放映を行う。  
同時にセールスドライバーのパネル展示、佐川美術館「企画展」の紹介もパネルにて展示し、来場者への健全な営業姿勢と文化的な企業イメージの訴求を併せて図る。



	来場者数
東京会場	22,604
名古屋会場	9,650
神戸会場	13,599
計	45,853人

### <パネル展示>

- クイズラリー
- Q1：省エネルギーへの取り組みと実践効果  
(アイドリングストップの効果)
  - Q2：佐川急便の企業姿勢
  - Q3：CO<sub>2</sub>削減 (アイドリングストップの効果)
  - Q4：新エネルギーへの取り組みと具体的な導入事例
  - Q5：佐川急便の実践紹介

### 企業紹介

- 佐川美術館パネル (イメージパネル)
- 佐川美術館パネル (企画展紹介パネル)

### <プラズマディスプレイ>

- 環境問題への取り組み姿勢の紹介
- 環境問題について現在取り組んでいることの具体例
- 最新コマーシャルの紹介



### 出展パネル (一部)

**Less CO<sub>2</sub>!**  
地球環境のために、私たち、そしてみんなにできること

**アイドリング・ストップによる省エネ**  
一日たった10分間のアイドリング・ストップで  
年間ドラム缶約**4,400**個の燃料が節約できます

● 軽自動車 100kmあたり燃費 15.0km/L	● 小型車 100kmあたり燃費 17.0km/L	● 大型車 100kmあたり燃費 24.0km/L	● トラック ドラム缶15個 2.000L
150円分	2,210円分	624円分	2,939円分

自動車が発していない時にエンジンを止める「アイドリング・ストップ」を、一日たったの10分間だけ実行することで、ドラム缶にして年間約4,400個の燃料が節約できます。佐川急便のセールスドライバーは「アイドリング・ストップ」を常に実践しています。

積み上げるとう富士山よりも高くなります

**もんだいQ1**  
下の文章の○○○の中にはなんという文字が入るかな?  
アイドリング・ストップとは「車の停車中には○○○を切る」こと

こたえは次の3つのうちから選んでね  
A ニンジン B エンジン C エジソン

**Less CO<sub>2</sub>!**  
地球環境のために、私たち、そしてみんなにできること

**アイドリング・ストップによるCO<sub>2</sub>削減**  
一日たった10分間のアイドリング・ストップで  
CO<sub>2</sub>を吸収してくれる樹木、年間で約**10**万本の負担を軽減します

● 軽自動車 100kmあたりCO <sub>2</sub> 排出量 50g	● 小型車 100kmあたりCO <sub>2</sub> 排出量 75g	● 大型車 100kmあたりCO <sub>2</sub> 排出量 180g	● トラック 17,000g
75円分	1,530円分	456円分	2,061円分

自動車から排出されるCO<sub>2</sub> (二酸化炭素) は、地球温暖化の原因となり、環境悪化につながります。佐川急便ではできるだけCO<sub>2</sub>を出さないために「低公害車」の導入やセールスドライバー一人ひとりが停車時にはエンジンを切る「アイドリング・ストップ」を常に実践しています。

2001年・8月30日  
→約**618**トン  
→約**103,000**本  
→約**103,000**本  
→約**103,000**本

**もんだいQ3**  
下の文章の○○の中にはなんという文字が入るかな?  
アイドリング・ストップによりできるだけ○○を出さない

こたえは次の3つのうちから選んでね  
A H<sub>2</sub>O B CO<sub>2</sub> C COP3

**Less CO<sub>2</sub>!**  
地球環境のために、私たち、そしてみんなにできること

**低公害車導入を推進しています**

私たちが、トラックは欠かせない道具です。だからこそ少しでも地球環境のために、トラックの排気ガスに含まれる有害物質 (窒素酸化物、二酸化炭素) を大幅に減らすことができる「低公害車」をできるだけ導入することにしました。「低公害車」には「天然ガス車」「ハイブリッド車」「メタノール車」「電気自動車」などの種類があり、佐川急便ではすでに**120**台の低公害車を導入しています。特に天然ガス車はトラックにおける全重量が台数の一割を保有し、さらに導入を推進してまいります。

**もんだいQ4**  
下の文章の○○○の中にはなんという文字が入るかな?  
「低公害車」には○○○車、ハイブリッド車、メタノール車、電気自動車がある

こたえは次の3つのうちから選んでね  
A 天然水 B 天然ガス C 炭酸ガス



## エコ・ライフフェア'99

【開催タイトル】 エコ・ライフフェア'99  
「きこえますか地球の鼓動 みえますか環境の世紀」

【出展テーマ】 環境の未来をはこぶ佐川急便

【日 時】 1999年6月5日(土)  
1999年6月6日(日)

【会 場】 国立代々木競技場・渋谷プラザ

	全体来場者数
6/5(土)	14,128
6/6(日)	18,445
計	32,573人



## 滋賀環境ビジネスメッセ'99

【開催タイトル】 滋賀環境ビジネスメッセ'99  
「環境産業を創出する'びわ湖'からのメッセージ」

【出展テーマ】 環境の未来をはこぶ佐川急便

【日 時】 1999年9月21日(火)  
22日(水)  
23日(木)

【会 場】 滋賀県長浜市・長浜ドーム



	全体来場者数
9/21(火)	11,700
9/22(水)	15,600
9/23(木)	12,800
計	40,100人









# 環境啓発コミュニケーションイベント

## 物流と環境フェア2000

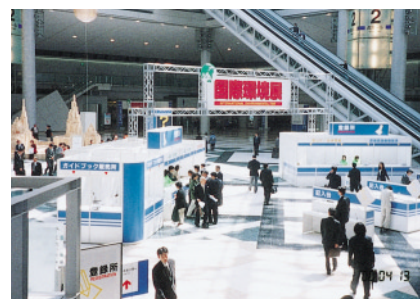
- 【開催タイトル】 物流と環境フェア2000
- 【展示テーマ】 「環境の未来をはこぶ佐川急便」
- 【出展内容】 パネル(シート)展示  
70インチプロジェクターによるプレゼンテーション  
ひきゃく君シアターを開催  
(参加者にキーチェーン及び携帯ストラップを進呈)  
及びひきゃく君クイズ(参加者にはキーチェーンを進呈)  
ひきゃく環境リーフレットの配布等
- 【日時】 2000年2月24日(木)  
25日(金)
- 【会場】 東京国際フォーラム・展示ホール(地下2階)



	全体来場者数
2/24(木)	2,528
2/25(金)	4,675
計	7,203人
主催者 公式発表	16,000人

## 国際環境展

- 【開催タイトル】 国際環境展
- 【開催趣旨】 地球にやさしい社会「循環型社会」の構築のため、  
環境問題に資する技術・活動の交流を図る  
とともに、そこからもたらされる製品・機器の流通促進や、  
地球環境の改善を促すための啓発活動
- 【日時】 2000年4月13日(木)~16日(日)
- 【会場】 東京ビッグサイト 西1、2ホール



	全体来場者数
4/13(木)	15,440
4/14(金)	16,984
4/15(土)	9,864
4/16(日)	8,771
計	51,059人



### 出展パネル(一部)

**Less CO<sub>2</sub>!**  
環境の未来をはこぶ佐川急便

**低公害車導入を推進しています**

私たちにとって、トラックは欠かせない道具です。だから少しでも地球環境のために、トラックの排気ガスに含まれる有害物質(窒素酸化物・二酸化炭素)を大幅に減らすことができる「低公害車」をできるだけ導入することにしました。

「低公害車」には「天然ガス車」「ハイブリッド車」「メタノール車」「電気自動車」などの種類があり、佐川急便ですでに約200台の低公害車を導入しています。

特に天然ガス車は小・中型トラックにおける全保有台数の約15%を保有し、さらに導入を推進してまいります。

<http://www.sagawa-exp.co.jp/>

**Less CO<sub>2</sub>!**  
環境の未来をはこぶ佐川急便

**運輸業界初!  
東京支社内に「CNGスタンド」を設置**  
(平成11年4月)

CNG(圧縮天然ガス)充填施設

佐川急便では、運輸業界では初めて、自社でCNG(圧縮天然ガス)充填施設を東京支社内に設置しました。

これは同支社内に導入している天然ガス車の燃料補給をスムーズに行い円滑なサービスを行うためです。また今後佐川急便が1排気管の燃-ろ-ろ-ろとして掲げた「安全、環境、そしてサービス。」のもと、さらにこの天然ガス車を初めとする低公害車の導入を奨励し、積極的な地球温暖化防止と環境保全のための取り組みを進めてまいります。

CNGスタンド

この施設は、1時間あたり300立方メートルの圧縮、地蔵ガス器、ディスプレイで構成。2トントラックでは1台あたり4~5分で充填でき、トラックを1日8時間稼働させる場合、約80台の充填が可能です。

<http://www.sagawa-exp.co.jp/>

**Less CO<sub>2</sub>!**  
環境の未来をはこぶ佐川急便

**総合物流企業として**

ハブセンター機能、SPC構築で輸送の効率化を図ることにより、地球環境保全のための取組を積極的に進めています。

**ハブセンター機能** SPC構築

ハブセンターでは、大量輸送の効率化による輸送の効率化を実現しています。また、輸送の効率化による輸送の効率化を実現しています。また、輸送の効率化による輸送の効率化を実現しています。

佐川急便では、物流総合企業としての専門性を生かした変革、物流情報システムの構築により、お客様のオールコスト削減を実現しています。

—高SPC

**エコアイス(氷蓄熱式空調システム)世界最多台数を導入**

佐川急便では省エネをテーマとしてエコアイス空調システム(天然ガス車、メタノール車、ハイブリッド車)の導入を奨励し、地球環境保全のための取組を進めています。その一環として、一部SPCの空調システムに—集約として世界最多台数となる2000台のエコアイス(氷蓄熱式空調システム)を導入しました。

<http://www.sagawa-exp.co.jp/>



## 「美しい空」へ

近年、佐川急便は地球環境保全のために  
社員一人ひとりが「できることから一つずつ」環境負荷低減活動を  
実践して参りました。

これらの活動で培った実績は、今後の環境保全活動に  
具体的な実践項目として生かします。

### 2001年の取り組み

ISO14001の取得を目指し、一丸となって取り組みます

低公害車の導入を推進いたします

エコドライブをさらに実践いたします

2001年さらなる美しい空へ

—— 挑戦 ——



# 会社概要

本 社 京都市南区上鳥羽角田町68番地  
Tel( 075 )691-6500( 代表 )

支 社 九州・四国・中国・大阪・京都・北陸・  
中京・東京・北関東・東北・北海道

創 業 1957( 昭和32 )年3月

社 長 栗和田榮一

資 本 金 8億9,790万円

売 上 げ 6,941億円

従 業 員 数 17,980人

認可車両台数 12,530台

佐川急便グループの地区法人を含む( 計42社分 )

従業員数:26,764名

認可車両台数:18,726台

( データについては2000年3月現在 )

**TRANSPORT!**  
**COMMUNICATION**  
**佐川急便**

この環境報告書に関するお問い合わせは  
環境推進室まで

京都市南区上鳥羽角田町68番地  
佐川急便株式会社 本社 環境推進室  
TEL.075-691-6500  
<http://www.sagawa-exp.co.jp/>  
e-mail:head\_eco@head.sagawa-exp.co.jp

この環境報告書は、再生紙と  
大豆油インキを使用しています。

**R100**  
FSC® C01199 和紙(国産) 11 107

